

学長 小野 長門氏

## 教育・研究・地域連携の三位一体めざす

―昨年4月、新しい教育カリキュラムが全学的にスタートしました。

―「英語コミュニケーション」の各専門科目をベースに、学科の垣根を越えて履修できる、企業と連携した実践教育を展開しています。

―理工融合型の共通教育と各学部学科の専門教育をクロスさせた体験型カリキュラムとなつていきます。実学主義に基づく幅広い知識・技能や人間性を養い、学生の主体性・社会性・専門性を伸ばします。具体的には、①挑戦する心を育む「アントレプレナーシップ教育」②データサイエンス・AIの基礎を身に付ける「データサイエンス」

―「英語コミュニケーション」の各専門科目をベースに、学科の垣根を越えて履修できる、企業と連携した実践教育を展開しています。

―「SILC」があり、17人の外国人教員を配置して実践的な英語教育を提供、海外17カ国2地域の44校と交流協定を結んで学生の留学や研修も奨励・支援しています。一方、TSMCの進出に伴い、「半導体人材育成学修プログラム」を設けました。情報学・機械工学科・ナノサイエンス学科

―学生の成長を支援する制度を多彩に用意されていますね。

―「学修ポートフォリオシステム」を導入し、学生は自身の学修到達度を客観的に評価できるようにしています。またクラス担任制に加えて、教員1人が5人程度の学生と定期的に面談する「チューター制度」

―導入し、入学時から卒業までの成長をきめ細かくサポートしています。

―研究に関する話題をお聞かせください。

―大学の研究力を示す指標の一つに、競争的外部資金の獲得が挙げられます。本学は2025年度科学研究費補助金(科研費)の国からの配分額が、医・歯学部を有する大学を除いて、九州の私立大学で2年連続1位となりました。今後も教員が質の高い先進研究をできるよう、支援していきます。

―今後、どのような展開をお考えですか。

―地域に根差した大学として、今後も地元企業や自治体、高校などとの連携を進めます。



「SILC」内のカンパセーションラウンジ

―導入し、入学時から卒業までの成長をきめ細かくサポートしています。

―研究に関する話題をお聞かせください。

―大学の研究力を示す指標の一つに、競争的外部資金の獲得が挙げられます。本学は2025年度科学研究費補助金(科研費)の国からの配分額が、医・歯学部を有する大学を除いて、九州の私立大学で2年連続1位となりました。今後も教員が質の高い先進研究をできるよう、支援していきます。

―今後、どのような展開をお考えですか。

―地域に根差した大学として、今後も地元企業や自治体、高校などとの連携を進めます。

概要	
所在地	〒860-0082 熊本市西区池田4丁目22-1
設立	☎096(326)3111 昭和24年4月電気・電波学校創設 昭和42年4月大学開学(旧熊本工業大学)
学園構成	【大学】 ●工学部 機械工学科、ナノサイエンス学科、建築学科、宇宙航空システム工学(宇宙航空システム専攻・航空整備学専攻・航空操縦学専攻) ●芸術学部 美術学科、デザイン学科 ●情報学部 情報学科 ●生物生命学部 生物生命学科 ●薬学部 薬学科(6年制課程)
	【大学院】 ●大学院工学研究科 ●大学院芸術研究科 ●大学院薬学研究科
ホームページ	<a href="https://www.sojo-u.ac.jp/">https://www.sojo-u.ac.jp/</a>